

鈴鹿市地域公共交通計画に基づく 令和7年度事業報告及び令和8年度事業計画

令和 8 年5月 20 日
鈴鹿市地域公共交通会議事務局

鈴鹿市地域公共交通計画(施策体系図)

地域公共交通の課題

- 課題① 高齢者等の移動に制約がある市民の移動手段の確保
- 課題② 移動ニーズに対応した使いやすい地域公共交通の実現
- 課題③ 地域の力や資源を有効活用した持続可能な地域公共交通の実現
- 課題④ 地域公共交通に対する意識の醸成

基本方針

目標・評価指標・現状値・目標値(2027(令和9)年度)

《基本方針1》
持続可能な地域公共交通ネットワークの構築
に向けた維持・改善

目標① 路線バス利用者数を回復する

評価指標：三重交通鈴鹿管内8路線の利用者数
現状値：1,288千人(2019年度), 935千人(2020年度)
目標値：2019(令和元)年度水準

目標② C-BUS利用者数を回復する

評価指標：C-BUSの利用者数
現状値：232千人(2019年度), 178千人(2020年度)
目標値：2019(令和元)年度水準

目標③ 鉄道利用者数を回復する

評価指標：伊勢鉄道、近鉄鈴鹿線の利用者数
現状値：2,600千人(2019年度), 1,977千人(2020年度)
目標値：2019(令和元)年度水準

《基本方針2》
多様な移動ニーズに対応した地域公共交通の
確保

目標④ 地域における主体的な取組を支援する

評価指標：2022(令和4)年度以降、行政と協働し、地域における移動手段の導入について検討した地域づくり協議会の数
現状値：－
目標値：4つ(2027年度までに)

《基本方針3》
行政、交通事業者、地域の連携により地域公共交通を守り育てる

目標⑤ 利用促進の取組を増やす

評価指標：利用促進の取組の実施回数
現状値：年間6回(2019年度), 年間4回(2020年度)
目標値：2019(令和元)年度水準

地域公共交通の将来像

行政・事業者・地域の人々で
利便性の高い地域公共交通を
「使い」、「つくり」、「守り育てる」

目標を達成するための施策と具体的な取組

施策1-1 路線バスの運行維持

- ①地域間幹線系統の運行維持
- ②廃止代替路線の運行維持

施策1-2 C-BUSの運行維持・路線の見直し

- ①C-BUSの運行維持
- ②効率的で持続可能なC-BUSのあり方の検討・協議
- ③C-BUSの路線再編の実施

施策1-3 便利で移動しやすい環境の整備

- ①待合・乗継環境の整備
- ②交通機関相互の乗継利便の向上
- ③関係機関相互の情報共有と交通ネットワークの検討

施策2-1 地域公共交通の確保に向けた手順の明確化

- ①地域主体の移動手段導入のための手引書の作成

施策2-2 地域公共交通の確保のための取組体制・支援体制の構築

- ①地域主体の取組に対する支援
- ②多様な主体との連携を可能とするための庁内体制の構築

施策3-1 情報提供の充実による利用促進

- ①多様な媒体を活用した地域公共交通に関する情報発信
- ②C-BUSにおけるインターネット上の乗換案内等検索サービスへの対応
- ③C-BUSにおけるバスロケーションシステムの導入検討

施策3-2 地域公共交通の利用促進に向けた意識醸成

- ①バスの乗り方教室・乗車体験会・出前講座等の企画・実施
- ②イベント・キャンペーン等の実施
- ③各種イベント開催時等における啓発活動
- ④マイレール・マイバス意識の醸成

施策3-3 新技術を活用した地域公共交通の利便性向上

- ①MaaS (Mobility as a Service) にかかる情報収集と導入検討
- ②小型モビリティ、自動運転等にかかる情報収集と導入検討

施策 1-1 路線バスの運行維持

① 地域間幹線系統の運行維持

令和7年度 実績

・対象路線：亀山みずほ台線、津太陽の街線、平田四日市線、水沢線、平田亀山線

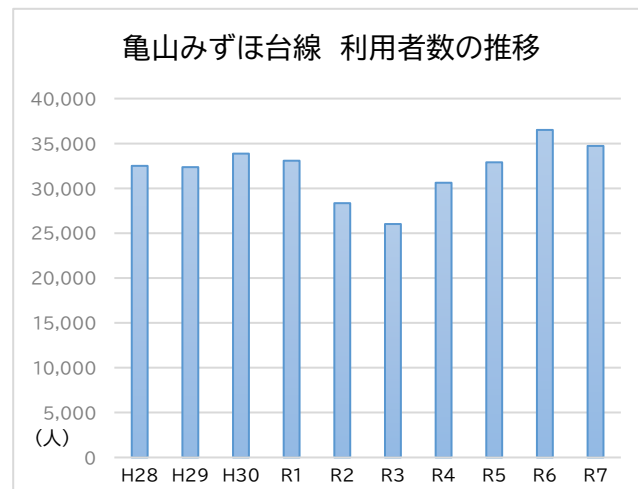
令和8年度 予定

・対象路線：亀山みずほ台線、津太陽の街線、平田四日市線、水沢線、平田亀山線
・バス事業者や三重県、沿線市等と情報共有を図り、利用促進を実施。

② 廃止代替路線の運行維持

令和7年度 実績

- ・対象路線：亀山みずほ台線
- ・亀山市と協議を行い、亀山みずほ台線の利用促進のためチラシを作成。鈴鹿市(沿線自治会)、亀山市(全地区)で配布・回覧。
- ・鈴鹿市ウェブサイトにて情報掲載。



令和8年度 予定

- ・対象路線：亀山みずほ台線
- ・亀山市と協力し、市の財政負担により運行を維持。
- ・亀山市と協議を行い、亀山みずほ台線の利用促進のためチラシを作成。鈴鹿市(沿線自治会)、亀山市(全地区)で配布・回覧。
- ・鈴鹿市ウェブサイトにて情報掲載。

施策 1-2 C-BUS の運行維持・路線の見直し

① C-BUS の運行維持

令和7年度 実績

- ・対象路線：西部地域 C-BUS(椿・平田線、庄内・神戸線)
南部地域 C-BUS(白子・平田線、太陽の街・平田線)
- ・工事やイベントの開催に伴う路線変更や通行止めに際し、適宜対応。
- ・停留所やバス車体に広告協賛を募り、収支の改善に努めた。
- ・年始の椿方面のバス運行規制において、小岐須町に臨時バス停を設置し、利用者の利便性改善に努めた。



令和8年度 予定

- ・対象路線：西部地域 C-BUS(椿・平田線、庄内・神戸線)
南部地域 C-BUS(白子・平田線、太陽の街・平田線)
- ・工事やイベントの開催に伴う路線変更や通行止めに際し、適宜対応。
- ・停留所やバス車体に広告協賛を募り、収支の改善に努める。
- ・年始の椿方面のバス運行規制において利用者の利便性改善に努める。

② 効率的で持続可能な C-BUS のあり方の検討

令和7年度 実績

- ・市民からの要望にかかる解決策を検討(意見・提案、問い合わせへの対応)
- ・デマンド交通実証運行の検証を通じて、一ノ宮地域づくり協議会と C-BUS に関する意見交換を実施。
- ・一部路線において、職員による実地 OD 調査を実施。

令和8年度 予定

- ・市民からの要望にかかる解決策を検討
- ・C-BUS に関する意見交換を地域とともに実施
- ・第2次鈴鹿市地域公共交通計画策定に向けた OD 調査・利用者アンケート等実態調査を実施。

施策 1-3 便利で移動しやすい環境の整備

① 待合・乗継環境の整備

令和7年度 実績

- ・C-BUS バス停 12 箇所を修繕(鈴鹿市、三重交通)
- ・台風・暴風等による破損バス停の復旧
- ・駅周辺トイレの清掃・維持管理(鈴鹿市、伊勢鉄道)
- ・JR 加佐登駅の建て替えが完了(JR 東海)
- ・伊勢鉄道鈴鹿駅・徳田駅の草刈り
- ・危険なバス停(白子・平田線⑩稲生バス停)の解消に向けて、運行事業者、鈴鹿警察、道路管理者、関係する土地所有者と協議を実施。



C-BUS バス停修繕前



修繕後



加佐登駅

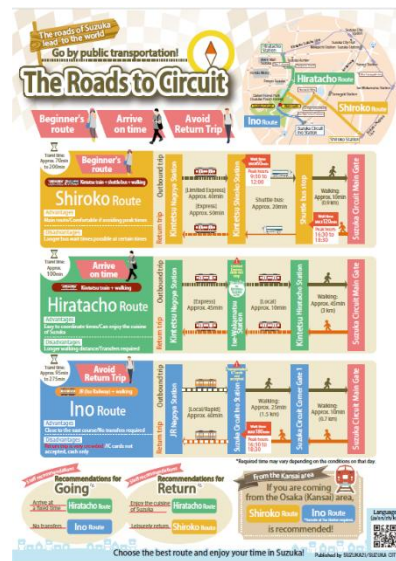
令和8年度 予定

- ・C-BUS バス停を修繕(鈴鹿市、三重交通)
- ・台風・暴風等による破損バス停の復旧
- ・駅周辺トイレの清掃・維持管理(鈴鹿市、伊勢鉄道)
- ・伊勢鉄道鈴鹿駅・徳田駅の草刈り。防草シートの設置。
- ・危険なバス停(白子・平田線⑩稲生バス停)の安全確保に向けた取組。
- ・JR 加佐登駅トイレについて地域・JR 東海と協議。

② 交通機関相互の乗継利便の向上

令和7年度 実績

- ・ダイヤ改正等の情報を関係者間で共有し、乗継利便の向上に向けて検討。
- ・F1 日本グランプリ開催時の来訪者の輸送を実施。
 - :臨時列車を運行(伊勢鉄道・近鉄)
 - :白子駅バス待ち緩和のため、平田町ルートを名古屋駅で推奨(近鉄)
 - :臨時シャトルバスを運行(三重交通)
 - :タクシーの営業区域外旅客運送(鈴鹿市旅客自動車協会)



令和8年度 予定

- ・ダイヤ改正等の情報を関係者間で共有し、乗継利便の向上に向けて検討。
- ・F1 日本グランプリ開催時の来訪者の輸送を実施。
 - :臨時列車を運行(伊勢鉄道・近鉄)
 - :白子駅バス待ち緩和のため、平田町ルートを名古屋駅で推奨(近鉄)
 - :臨時シャトルバスを運行(三重交通)
 - :タクシーの営業区域外旅客運送(鈴鹿市旅客自動車協会)

③ 交通ネットワークの検討

令和7年度 実績

- ・デマンド型交通実証運行事業で得られた住民ニーズや課題を検証する中で、地域公共交通計画に位置付ける市内地域公共交通ネットワークの考え方について維持していく方針を確認。
- ・「地域の実情に応じた移動手段確保のための手引書」の活用等により、地域内支線交通に対するパラダイムシフトを促進させることで、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築を目指していく方針を確認。(地域公共交通会議)

令和8年度 予定

- ・持続可能な地域公共交通ネットワークの形成に向けて協議・検討。

施策 2-1 地域公共交通の確保に向けた手順の明確化

① 地域主体の移動手段導入のための手引書の作成

令和7年度 実績

- ・手引書を鈴鹿市ウェブサイトに掲載し、地域づくり協議会に配布。
- ・デマンド型交通実証運行事業の成果物として得られた、地域公共交通の状況やよく行く移動先、普段の移動手段、外出で困っている人の割合などを地域別にまとめた「地域特性マップ」を別冊資料として追加。



地域特性マップのイメージ

令和8年度 予定

- ・地域特性マップから導き出された課題を整理。
- ・手引書の活用促進・浸透のため、地域へのヒアリング・説明等を実施。

② 地域主体の取組に対する市の財政支援メニューの作成	
令和7年度 実績	・手引書(P4)「地域組織が主体となり、地域内支線の位置付けの一般乗合旅客運送事業に取り組む場合、運行に係る経費の一部を市が財政支援します。」の記載に基づき、デマンド型交通実証運行事業の評価・検証結果も踏まえて、市の財政支援のあり方を検討。
令和8年度 予定	・財政支援を必要とする具体的な適用事案の掘り起こし。

施策 2-2 地域公共交通の確保のための取組体制・支援体制の構築

①地域主体の取組に対する支援	
令和7年度 実績	・デマンド型交通実証運行を実施した2地域(一ノ宮、久間田・石薬師)の地域づくり協議会と実証運行結果を踏まえ、今後の方向性について協議を実施。 ・交通会議・分科会においてデマンド型交通実証運行の結果レビューを行い、今後の市内への展開、事業成果の将来施策への活用について協議を実施。
令和8年度 予定	・移動に関する課題がある地域(地域づくり協議会、自治会)の要望を聴取し、出張相談を実施して、課題解決に向けた取組を検討する。

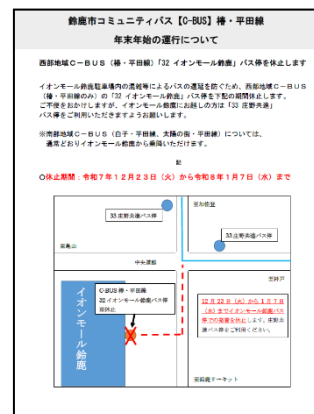
② 多様な主体との連携を可能とするための庁内体制の構築	
令和7年度 実績	・庁内関係部局と連携して、地域の移動に関する課題解決に向けて支援する体制を検討。
令和8年度 予定	・手引書を活用し、庁内関係部局と連携して、地域の移動に関する課題解決に適切な解決策を検討・導入する支援体制を整備する。

施策 3-1 情報提供の充実による利用促進

①多様な媒体を活用した地域公共交通に関する情報発信

令和7年度 実績

- ・鈴鹿市内公共交通時刻表の全戸配布を実施。
- ・C-BUS に関する情報発信(掲示、回覧、広報、市ウェブサイト掲載):20 件
(内容:イベントや道路交通障害による遅延、迂回、運休等)
- ・利用促進イベントに関する市ウェブサイトへの掲載:4件



令和8年度 予定

- ・市・各交通事業者のウェブサイト、SNS 等の活用
- ・鈴鹿市内地域公共交通時刻表の作成、配布方法の検討
- ・広報誌(広報すずか)での情報発信

② C-BUS におけるインターネット上の乗換案内等検索サービスへの対応

令和7年度 実績

- ・サービス対応にかかる費用等調査
- ・研修への出席

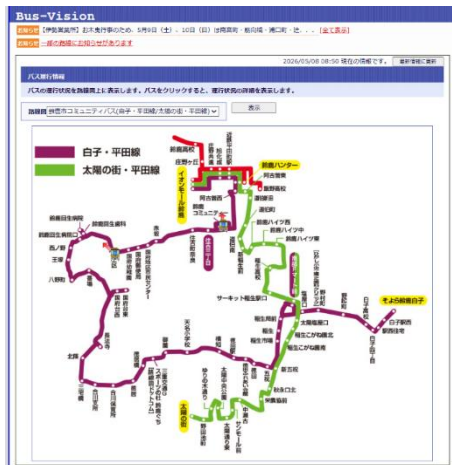
令和8年度 予定

- ・C-BUS の利用実態調査・分析をし、その結果に基づき検討

③ C-BUS におけるバスロケーションシステムの導入検討

令和7年度 実績

- ・7 月にバスロケーションシステムを導入完了。



三重交通接近情報バスロケーションシステム「Bus-Vision」を導入



令和8年度 予定

- ・バス停への二次元コード貼付等による利用促進。

施策 3-2 地域公共交通の利用促進に向けた意識醸成

① バスの乗り方教室・乗車体験会・出前講座等の企画・実施

令和7年度 実績

- ・バスの乗り方教室(鈴鹿市・三重交通)
(対象:鈴鹿市立深伊沢小学校 24 名・鈴鹿市立合川小学校 49 名)



令和8年度 予定

- ・小学生を対象としたバスの乗り方教室を市内2校で実施(鈴鹿市、三重交通)

② イベント・キャンペーン等の実施

令和7年度 実績

- ・鈴鹿市「ミジュマルバス」(C-BUS)の運行開始
- ・三重交通「ミジュマルバス」の運行開始
- ・ミジュマルライナーの運行(近鉄)
- ・ミジュマルトレインの運行(伊勢鉄道)
- ・「バスの日」PR 事業(三重交通)
- ・近鉄白子駅開業 110 周年記念 鈴鹿警察コラボ IN そよら(近鉄)
- ・鈴鹿市駅開業 100 周年！ 神戸城謎解きハイキング(近鉄)
- ・三重県内の地域鉄道を巡るスタンプラリー(中部運輸局・伊勢鉄道)
- ・みえのポケふた&のりものスタンプラリー(三重県)
- ・みえエコ通勤割引(県・三重交通)



©Pokémon. ©Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémon は任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの商標です。

令和8年度 予定

- ・鉄道、バス事業者によるイベント等の実施

③ 各種イベント開催時等における啓発活動

令和7年度 実績

- ・F1日本グランプリ開催時のアクセス情報や渋滞情報の発信
- ・F1日本グランプリ開催時の C-BUS 一部運休
- ・年末年始の椿大神社へのアクセス情報の発信



令和8年度 予定
・各種イベント開催時に情報発信

④ マイレール・マイバス意識の醸成
令和7年度 実績
・自治会や地域住民による駅周辺の駐輪場や花壇の美化活動 ・C-BUS の車内音声案内の修正に、白子小学校児童3名が協力
令和8年度 予定
・自治会や地域住民による駅周辺の駐輪場や花壇の美化活動

施策3-3 新技術を活用した地域公共交通の利便性向上

② MaaS に係る情報収集と導入検討
③ 小型モビリティ、自動運転等にかかる情報収集と導入検討
令和7年度 実績
<参加事業> ・令和7年度 第1回地域公共交通セミナー ・令和7年度第1回“チャレンジ！未来技術”講習会 ・全国自治体ライドシェア連絡協議会勉強会 ・WEB セミナー「導入自治体の生の声～AI オンデマンド交通 入門・事例編～」 ・移動等円滑化促進方針・バリアフリー基本構想策定支援セミナー ・令和7年度地域公共交通研修「地域公共交通計画のアップデート」 ・デマンド交通オープンデータセミナー ・公共ライドシェアに関する実務者セミナー ・三重県公共ライドシェアセミナー ・イオン(株)からシェアサイクルのヒアリングに協力 ・名張市交通セミナー ・第1回全国バリアフリー政策担当者会議 ・愛知県春日井市「ゆっくり自動運転送迎サービス」視察 ・第 53 回都市交通計画全国会議 ・公共交通に関する勉強会 ・長期研修 令和 7 年度「地域公共交通の維持と確保に向けて」 ・「地域交通の DX 推進に向けた事業説明会」のウェビナー ・令和 7 年度地域公共交通シンポジウム in 中部 ・SOMPO パーク三重@伊勢



春日井市 地元住民による NPO が運行する自動運転サービス

令和8年度 予定

- ・Maas 導入により、移動の利便性向上や地域の課題の解決を図った事例等を情報収集。
- ・市内の移動に関する課題解決や地域公共交通の安全性向上や運転手不足等への対応にかかる事例等を情報収集。